取扱説明書

取扱説明書

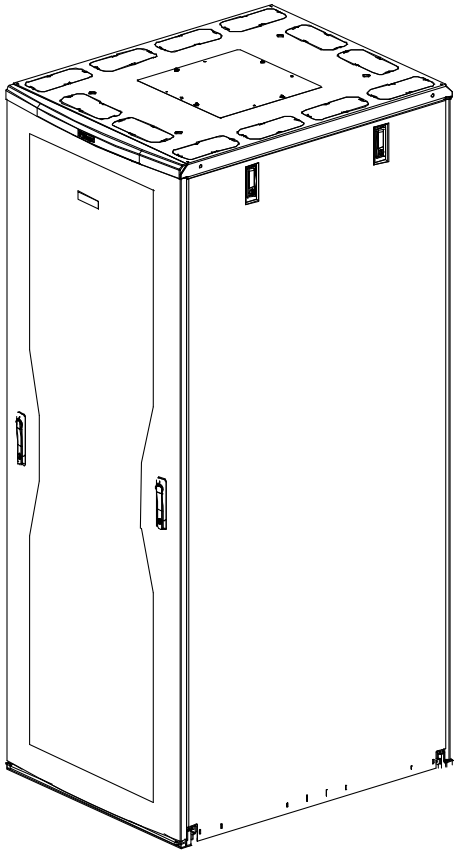
CM317B-JP

NET-ACCESS™ キャビネット

製品番号: CN1、CN2、CN1CN、CN2CN

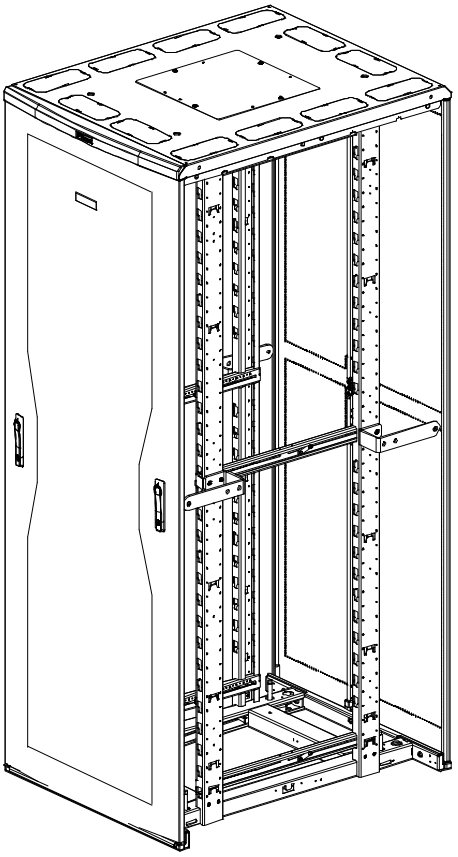
Panduit Corporation Japan Branch

CN1/CN1CN



ベースフレーム(x1)
サイドパネル(x2)
デュアルヒンジドア(x1)
観音式ドア(x1)
ケーブル管理フィンガー(x20)
ハードウェアキット(x1)
CN1:#12-24ネジ用ラックマウントレール(x4)
CN1CN:ケージナット用ラックマウントレール(x4)

CN2/CN2CN



ベースフレーム(x1)
デュアルヒンジドア(x1)
観音式ドア(x1)
ケーブル管理フィンガー(x20)
ハードウェアキット(x1)
CN2:#12-24ネジ用ラックマウントレール(x4)
CN2CN:ケージナット用ラックマウントレール(x4)

版	制定	作成	承認
B	2008年9月16日	久保	今野

NET-ACCESS™ キャビネット

製品番号: CN1、CN2、CN1CN、CN2CN

Panduit Corporation Japan Branch

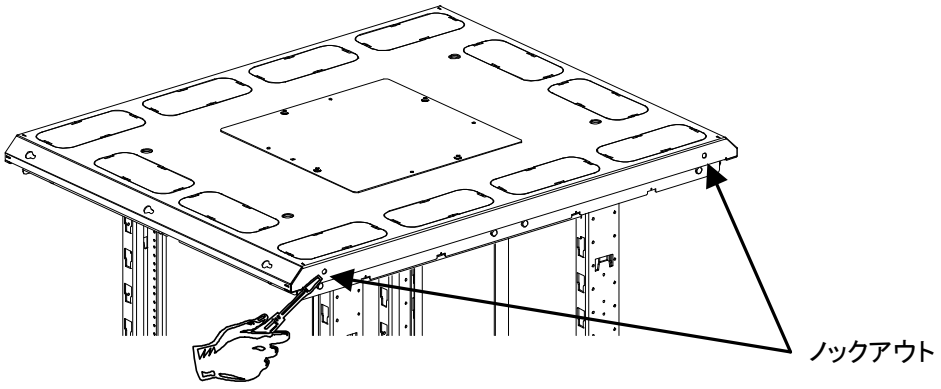
注　意

作業を始める前によくお読みください。

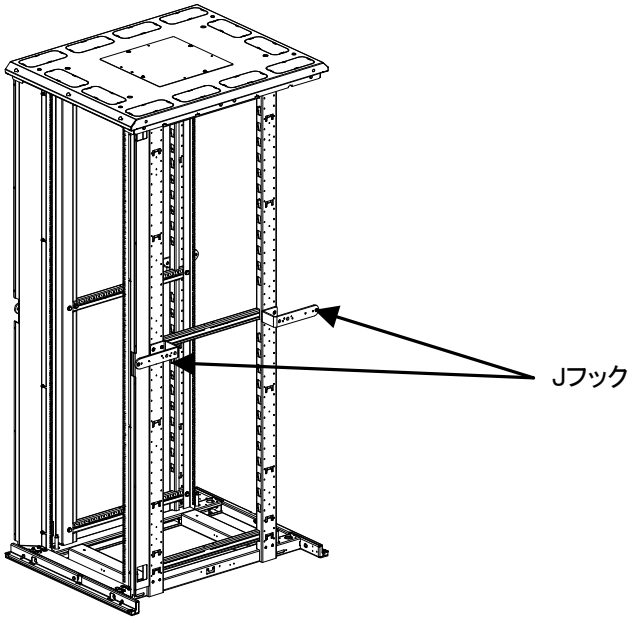
キャビネットを連結する場合、事前に以下の手順を行ってください。

※連結用タブが付いていないタイプの場合（8ページ参照）

1. キャビネットをフロアに固定する前に、連結部の上部2か所にあるノックアウトを取り外します。床に固定した後はスペースの問題上、取り外せません。（9ページ参照）



2. サイドパネルを使用せずに連結する場合、Jフックを事前に取り外します。また、Jフックが必要ない場合も取り外します。（取り外し方法については7ページ参照）



3. サイドパネルを使用する場合は連結する前に取り付けます。連結後、サイドパネルの取り付けはできません。
   注：サイドパネルが付いている場合は下部では連結できません。

4. 排気用エアーダクト（CNAEシリーズ）を使用する場合は、連結する前に取り付けます。（取付方法については別途取扱説明書を参照してください。製品型番：CNAE1・CNAE2・CNAE3）
   注：サイドパネルを取り付けたまま、エアーダクトは取り付けできません。
   注：サイドパネルを使用しない連結部は、連結後もエアーダクトの取り付けは可能ですが、作業性が悪くなるため事前に取り付けることをお奨めします。

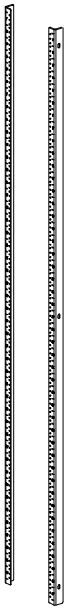
取扱説明書

CM317B-JP

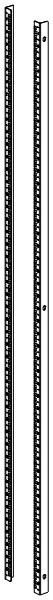
NET-ACCESS™ キャビネット

製品番号: CN1、CN2、CN1CN、CN2CN

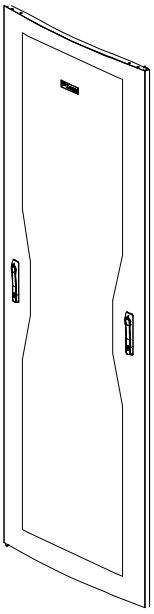
Panduit Corporation Japan Branch



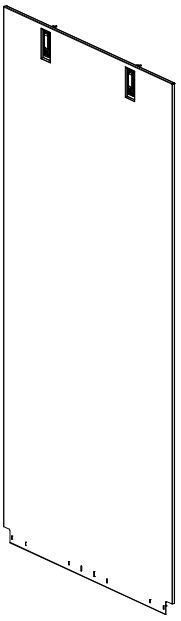
#12-24ネジ用ラック
マウントレール
（CNRT）



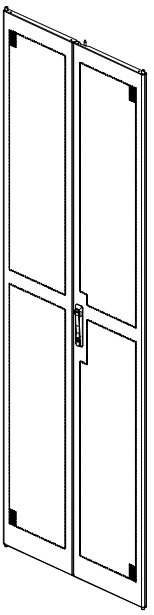
ケージナット用ラック
マウントレール
（CNRC）



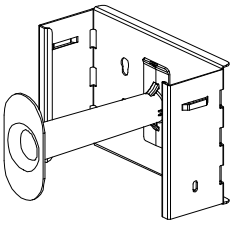
デュアルヒンジドア
（CNDDE）



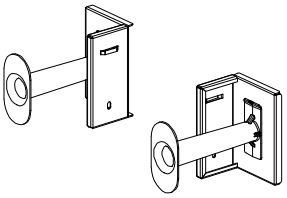
サイドパネル
（CNPS）



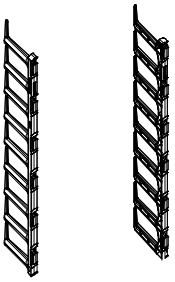
観音式ドア
（CNDS）



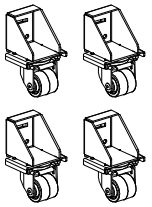
余長収納スプール
ラック連結部用
（CNSPC）



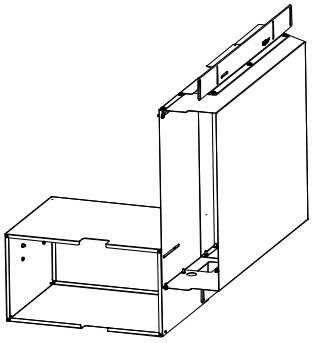
余長収納スプール
（CNSPE）



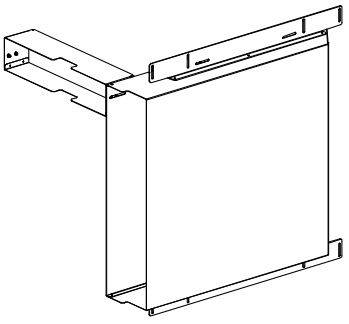
垂直型ケーブル管理
フィンガーキット
（CNBRFK）



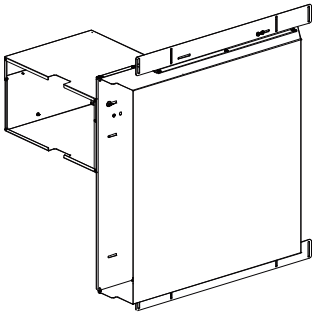
キャスター
（CNCSTR）



排気用エアダクト
Cisco 6509/6509Eスイッチ用 （CNAE1）



排気用エアダクト
Cisco 9513スイッチ用 （CNAE2）



排気用エアダクト
Cisco 6513スイッチ用 （CNAE3）

版	制定	作成	承認
B	2008年9月16日	久保	今野

NET-ACCESS™ キャビネット

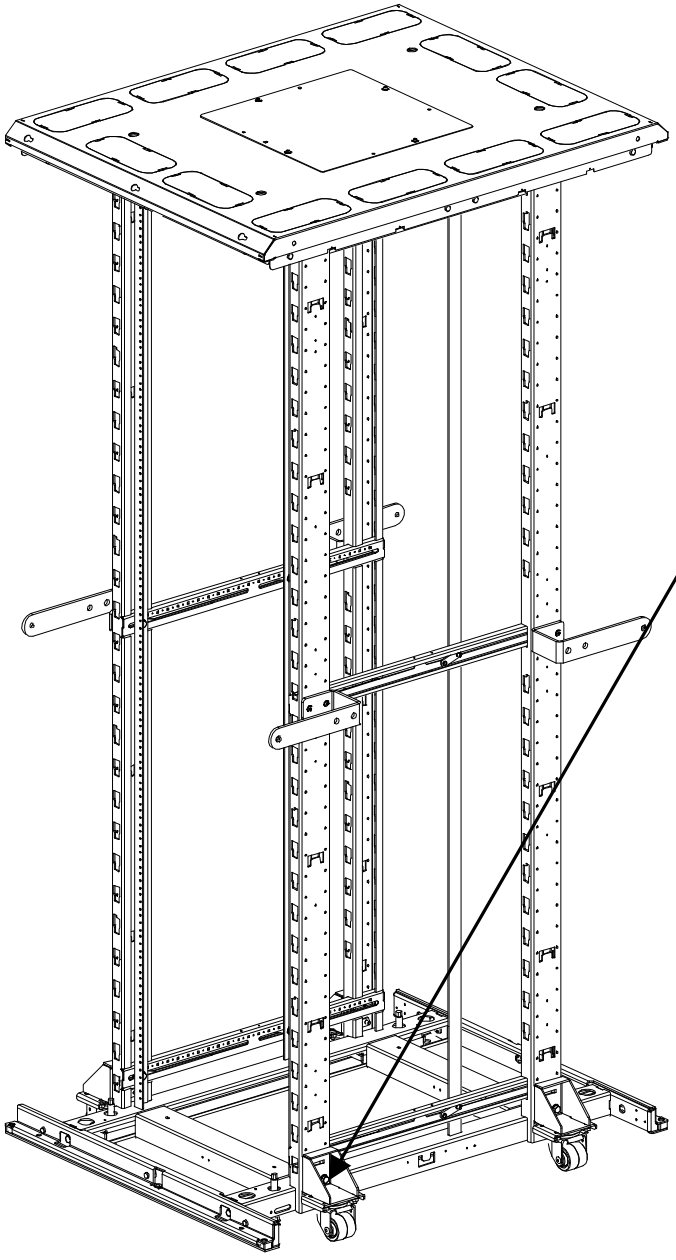
製品番号: CN1、CN2、CN1CN、CN2CN

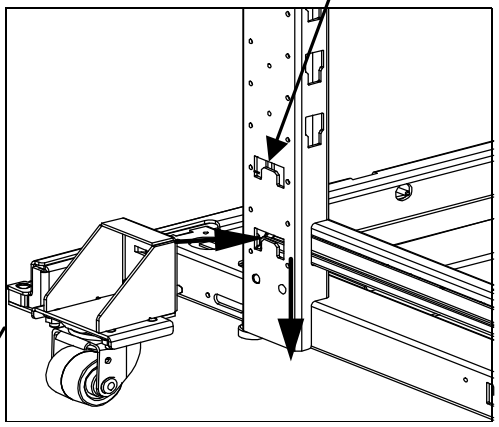
Panduit Corporation Japan Branch

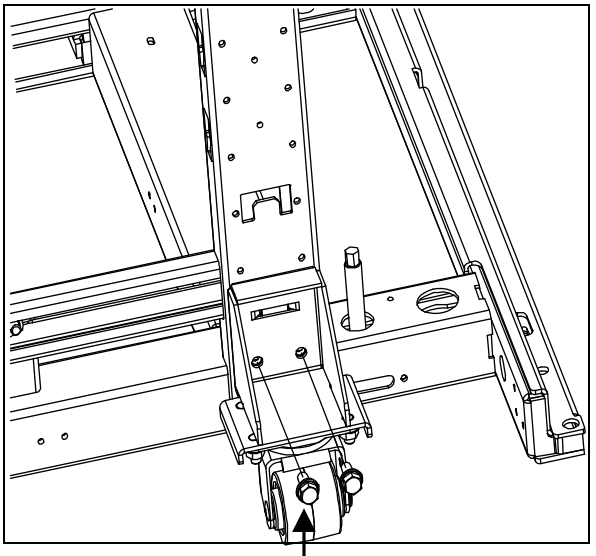
キャスターキット(CNCSTR)

レベルフットを取り付けた状態で、下記の図のようにキャビネットのマウントフックにキャスターを取り付けます。5/16x3/4インチボルト2個を、1/2インチ(13mm)ソケットを用いて締めます。レベルフットを引込め、キャビネットをキャスターで支えます。

注意:キャスターは、最大限に機器を搭載したキャビネットを支えることができますが、キャビネットの移動以外の用途で使用しないでください。常置する際には安定性を確保するため、レベルフットを使用してください。







トルク14ft.-lbs(19.0N-m)でボルトを締めます。
キャスターをキャビネットのフレームにしっかりと固定してください。

版	制定	作成	承認
B	2008年9月16日	久保	今野

NET-ACCESS™ キャビネット

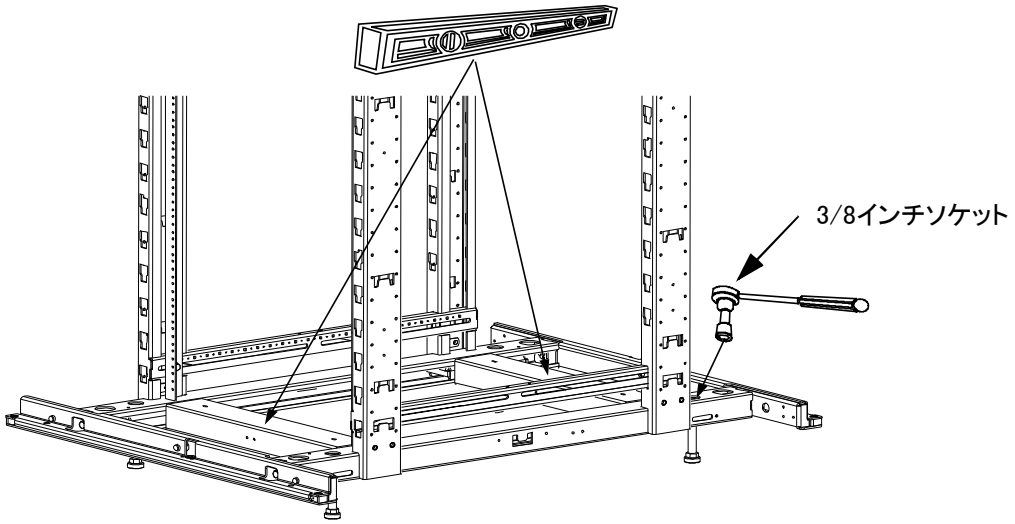
製品番号: CN1、CN2、CN1CN、CN2CN

Panduit Corporation Japan Branch

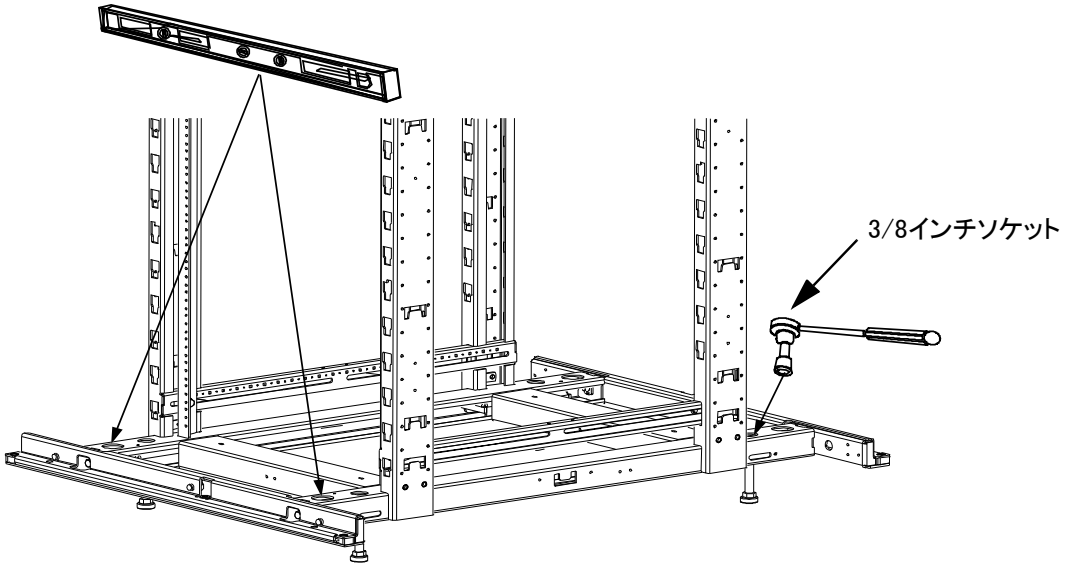
キャビネットを水平にする

レベルフットを引込め、キャビネットを設置する位置まで移動します。3/8インチソケットを用いて、キャビネットの加重が確実に支えられるまでレベルフットを下ろします。下記の図にあるように、ベース部に水平器を設置して、キャビネットが床に対して水平になるようレベルフットを調節します。連結したキャビネットの場合、隣接するキャビネットは同じ高さおよび平行になるようにし、キャビネット間に隙間が無いようにしてください。

前面・背面



側面



注意:キャビネットの最大耐荷重は1134kgです。荷重が均一になるよう機器を搭載し、重量の重い機器はキャビネットの下部に設置してください。

版	制定	作成	承認
B	2008年9月16日	久保	今野

NET-ACCESS™ キャビネット

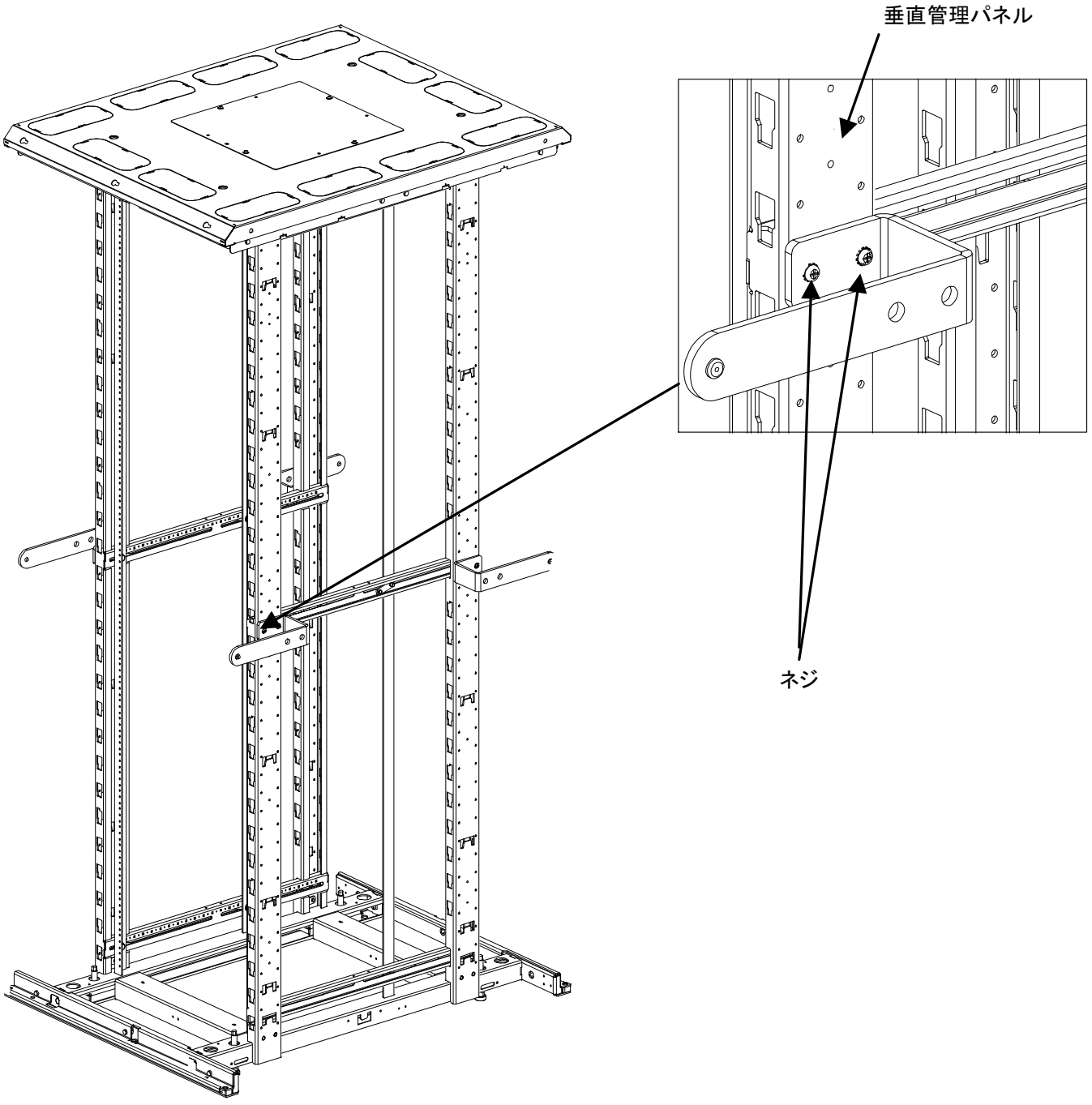
製品番号: CN1、CN2、CN1CN、CN2CN

Panduit Corporation Japan Branch

Jフックの取り外し(オプション)

Jフックはサイドパネルを支え、またキャビネットを移動する際に使用します。キャビネットを連結して使用する場合は取り外すことができます。Jフックを取り外すには、キャビネットレールについている2つのネジを外します。

重要:Jフックが必要ない場合は、キャビネットを連結する前に取り外してください。



版	制定	作成	承認
B	2008年9月16日	久保	今野

NET-ACCESS™ キャビネット

製品番号: CN1、CN2、CN1CN、CN2CN

Panduit Corporation Japan Branch

キャビネットの連結

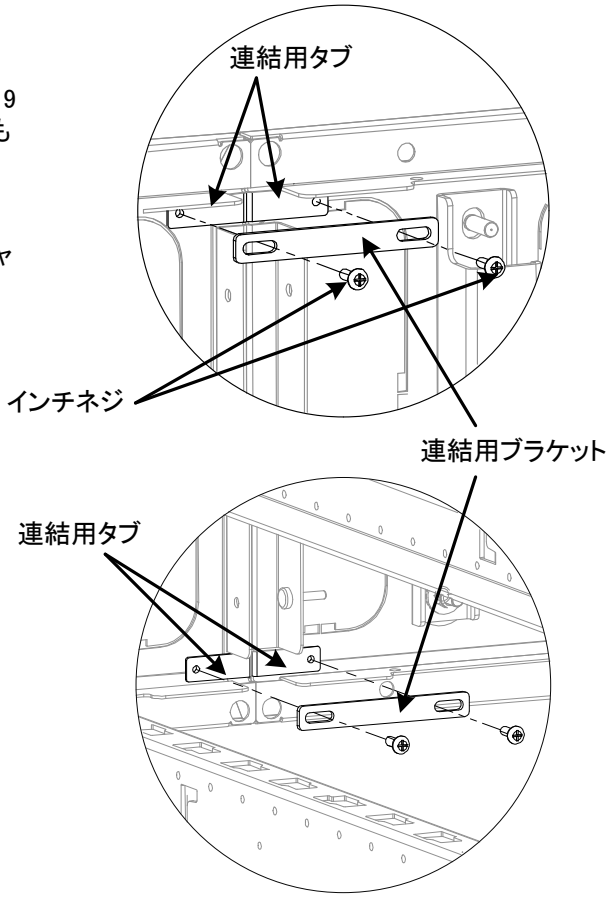
重要:
連結する前に、キャビネットの種類を確かめてください。予め連結用タブが付いているタイプ(下図参照)と、付いていないタイプがあります。連結用タブが付いていないタイプのキャビネットを使用する場合は、次頁をご参照ください。

重要:
サイドパネルを使用する場合は連結する前に取り付けてください(18-19ページを参照)。排気用エアーダクト(CNAEシリーズ)を使用する場合も連結前に取り付けてください。

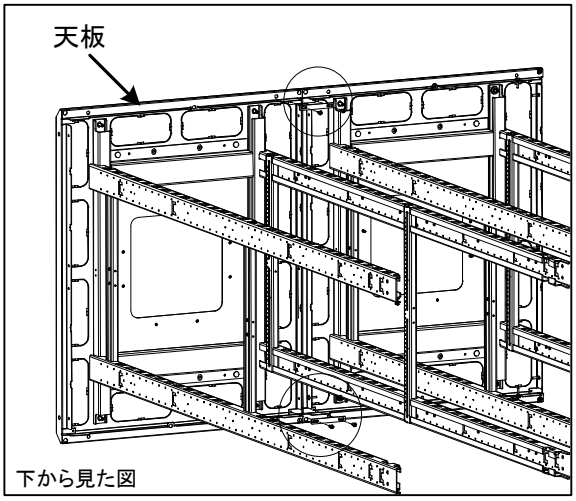
重要:
連結前にキャビネットが水平か確かめてください(6ページを参照)。キャビネットが水平でないとドアを適切に取り付けることができません。

連結用ブラケット2つとインチネジ4本を使用して天板を固定します。

重要:
連結前に、キャビネットの天板が水平に合っているか確かめてください。連結用ハードウェアできつく締めないでください。

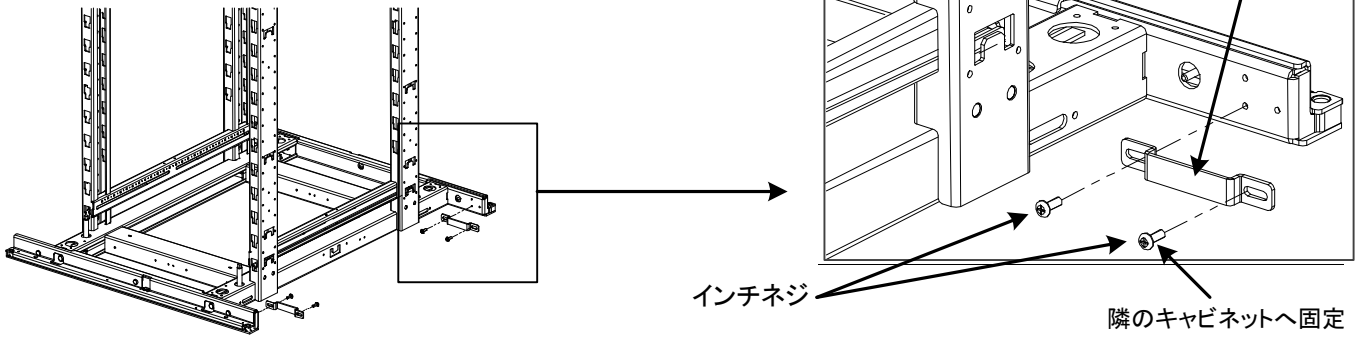


上部固定位置



下部固定位置

連結する隣のキャビネットとドアレールが合っていることを確かめてください。連結用ブラケット2つとインチネジ4本を使用して、キャビネットの下部を固定します。



版	制定	作成	承認
B	2008年9月16日	久保	今野

NET-ACCESS™ キャビネット

製品番号: CN1、CN2、CN1CN、CN2CN

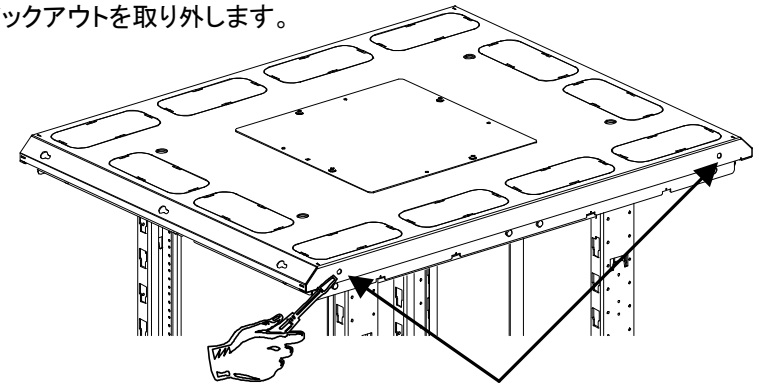
Panduit Corporation Japan Branch

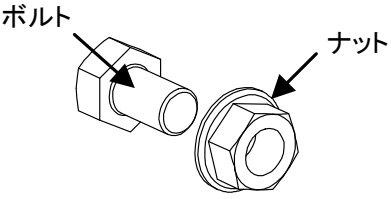
キャビネットの連結(オプション)

キャビネットを連結する前に、連結部の上部2か所にあるノックアウトを取り外します。

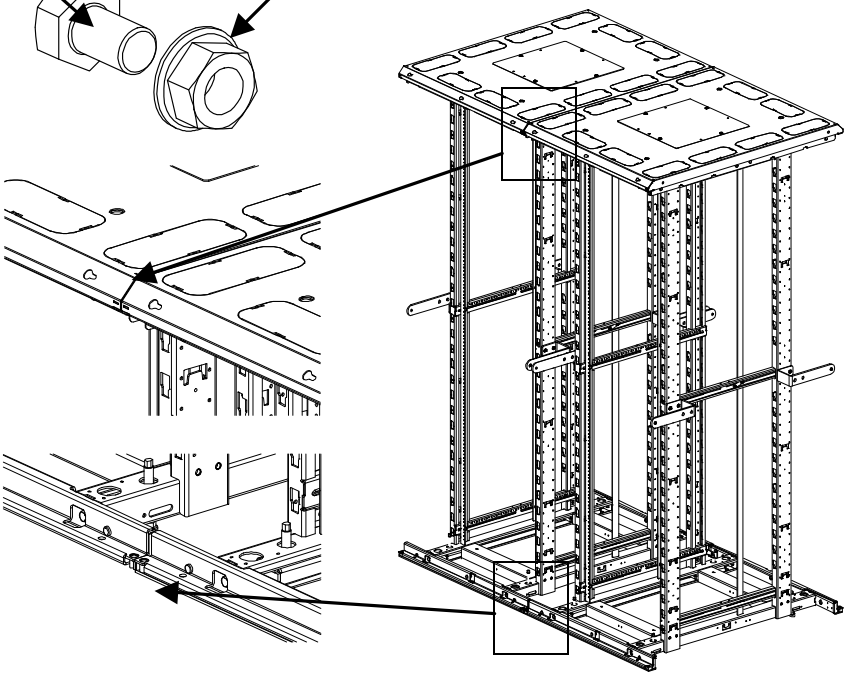
重要:
サイドパネルを使用する場合は、連結する前に取り付けてください(18-19ページを参照)。排気用エアーダクト(CNAEシリーズ)を使用する場合も、連結前に取り付けてください。

重要:
連結する前にキャビネットが水平か確かめてください。



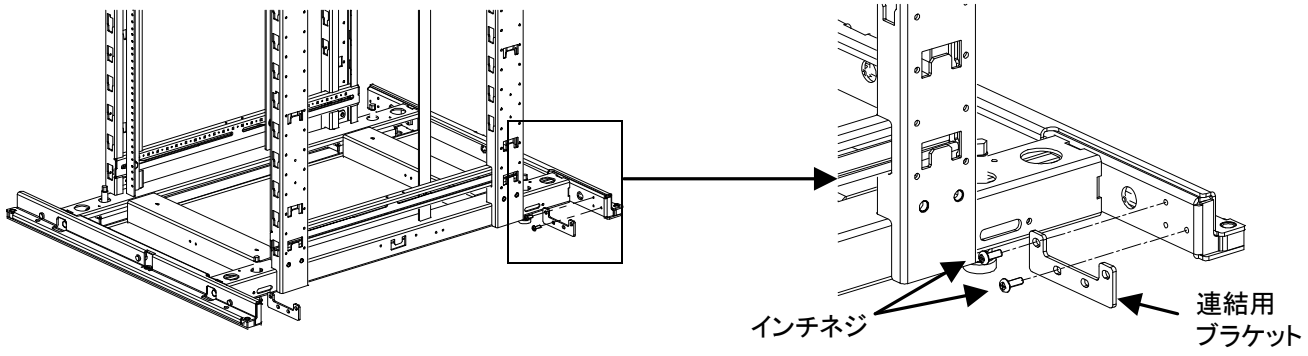


ハードウェアキットに添付されている5/16インチボルトとナットを使用して天板同士を固定します



連結する隣のキャビネットとドアレールが合っていることを確かめてください。連結用ブラケット2つとインチネジ4本を使用して、キャビネットの下部を固定します。

下部固定位置



版	制定	作成	承認
B	2008年9月16日	久保	今野

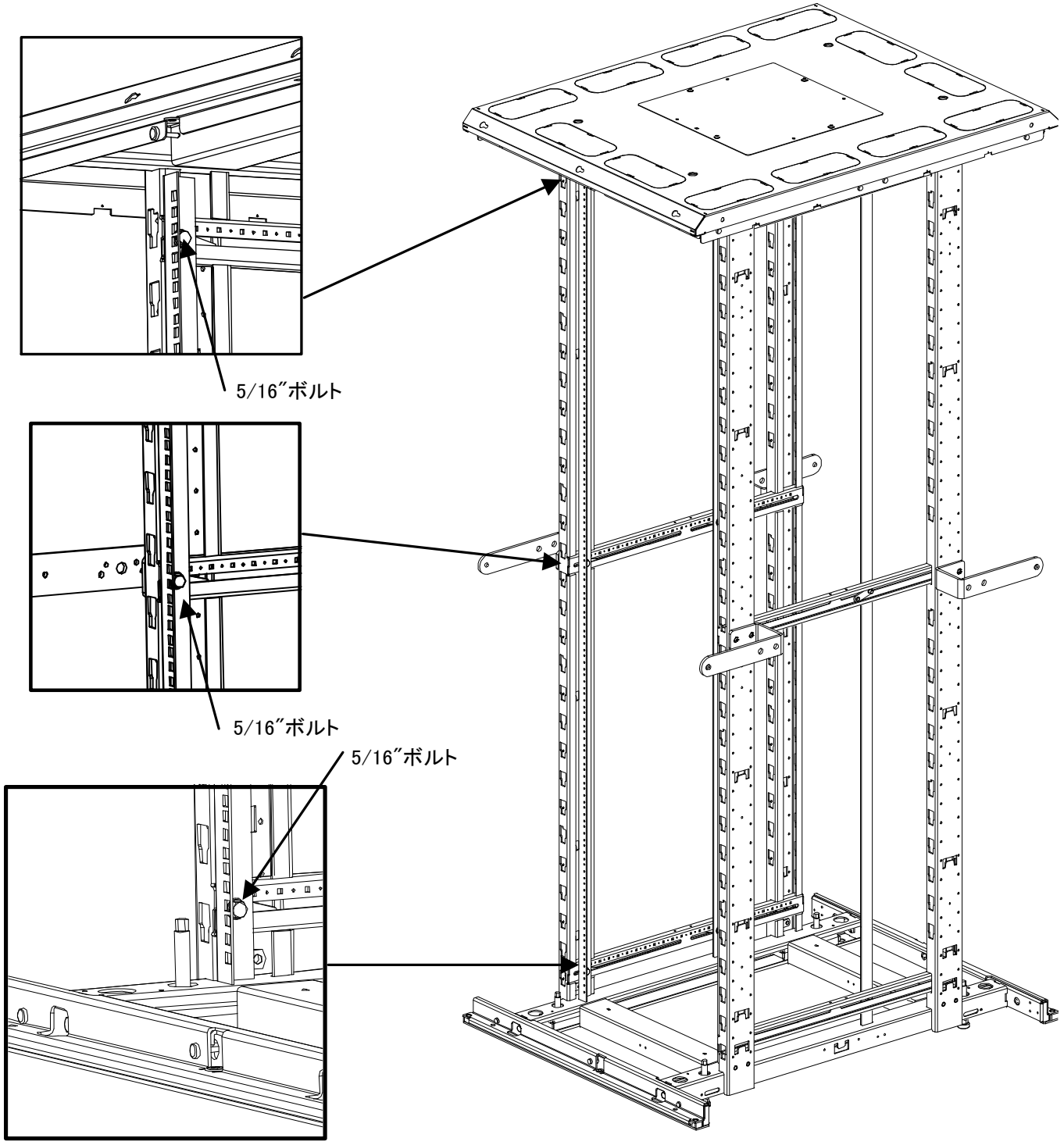
NET-ACCESS™ キャビネット

製品番号: CN1、CN2、CN1CN、CN2CN

Panduit Corporation Japan Branch

マウントレールの調節と扱い方

マウントレールは4本全て調節可能です。奥行きを調整するには、1/2インチ(13mm)ソケットを用いて3箇所の5/16x3/4"ボルトを緩めます。設定位置までスライドし、再びボルトを締めます。トルク14ft.-lbs(19.0N-m)でマウントレールをキャビネットのフレームに固定してください。



版	制定	作成	承認
B	2008年9月16日	久保	今野

NET-ACCESS™ キャビネット

製品番号: CN1、CN2、CN1CN、CN2CN

Panduit Corporation Japan Branch

レールの取り付け(CNRC、CNRT)

下記のように、同梱のボルトとナットを用いて3箇所にキャビネットレールを取り付けます。図1にあるように、ワッシャーは2本目のレールに取り付けてください。水平ケーブル管理パネル(NCMHAEF2・NCMHAEF4)の開閉やスイッチファンを設置できるよう、レールはキャビネットの前面から約2.5cm内側に取り付けられています。
注意:トルク14ft.-lbs(19.0N-m)でマウントレールをキャビネットのフレームに固定してください。

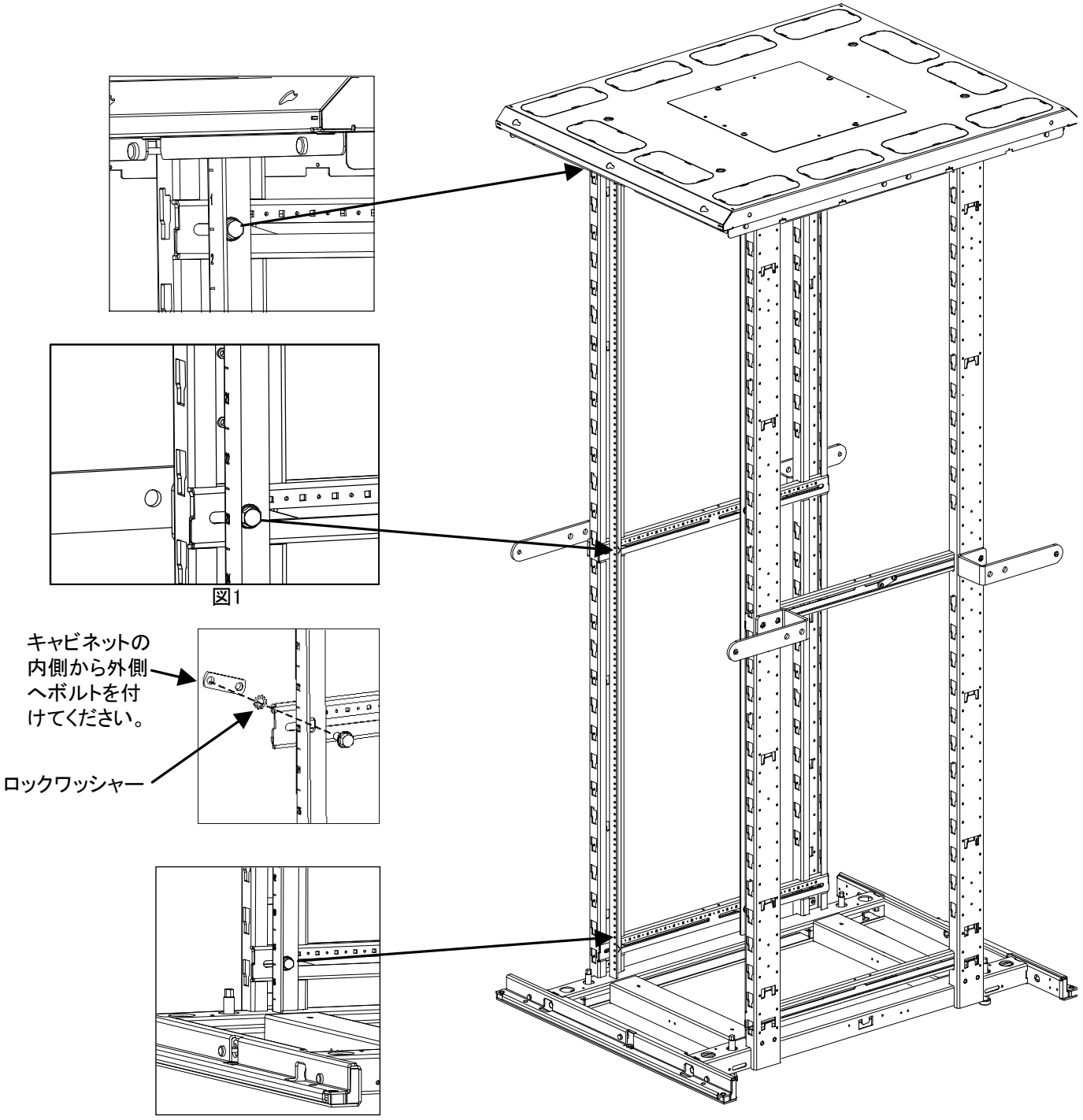


図1

版	制定	作成	承認
B	2008年9月16日	久保	今野

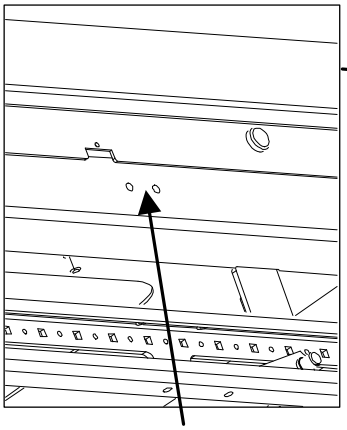
NET-ACCESS™ キャビネット

製品番号: CN1、CN2、CN1CN、CN2CN

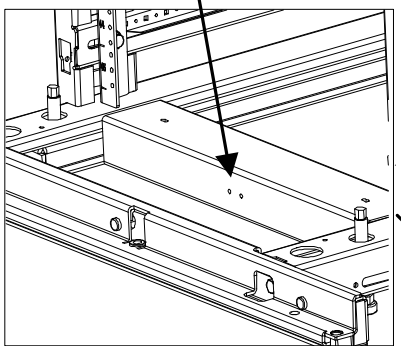
Panduit Corporation Japan Branch

グランディング

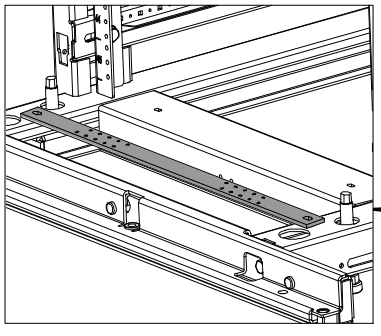
CBN(Common Bonding Network)へのグランディング接続位置は下記を参照してください。グランディング位置の塗装を剥がしてください。CBN接続には、パンドウイットRGEJシリーズの機器ジャンパーを使用してください。

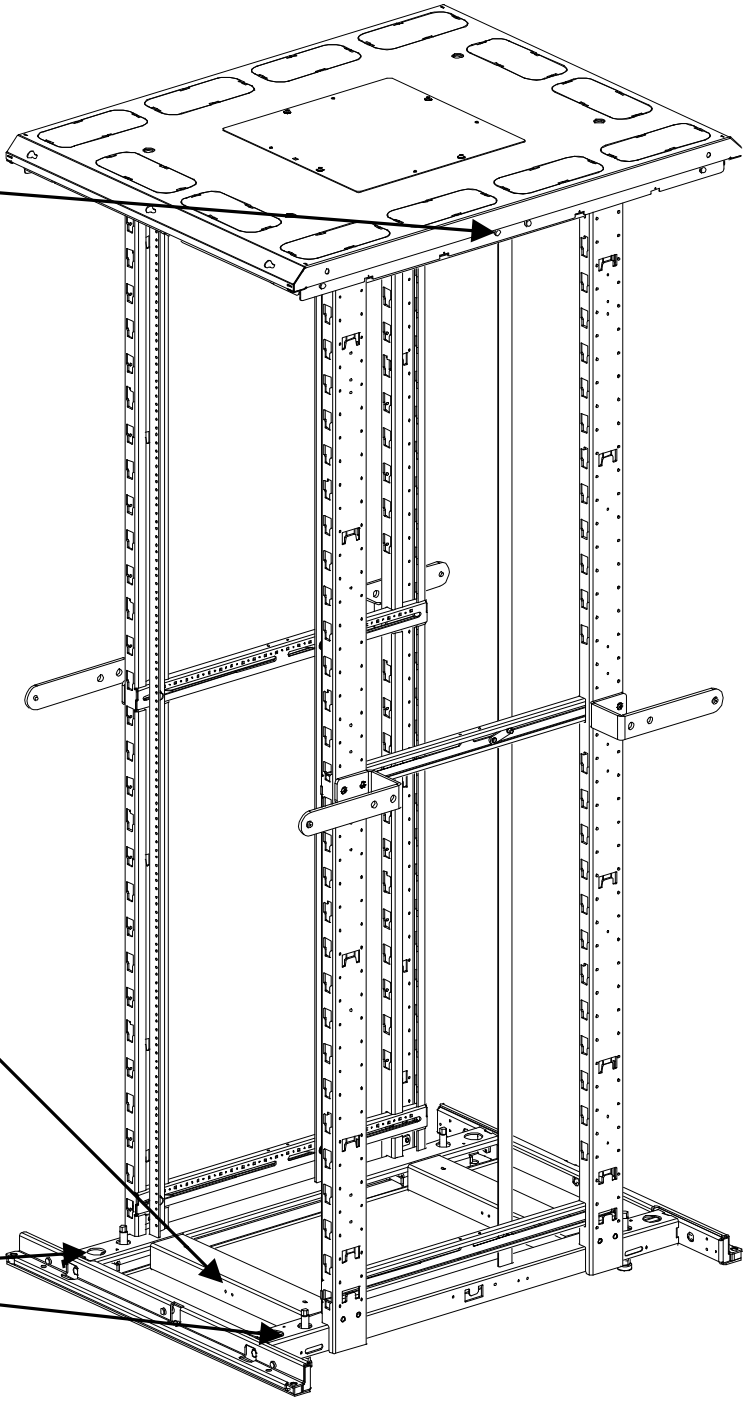


グランディングラグ取り付け位置



グランディングバー取り付け位置





版	制定	作成	承認
B	2008年9月16日	久保	今野

NET-ACCESS™ キャビネット

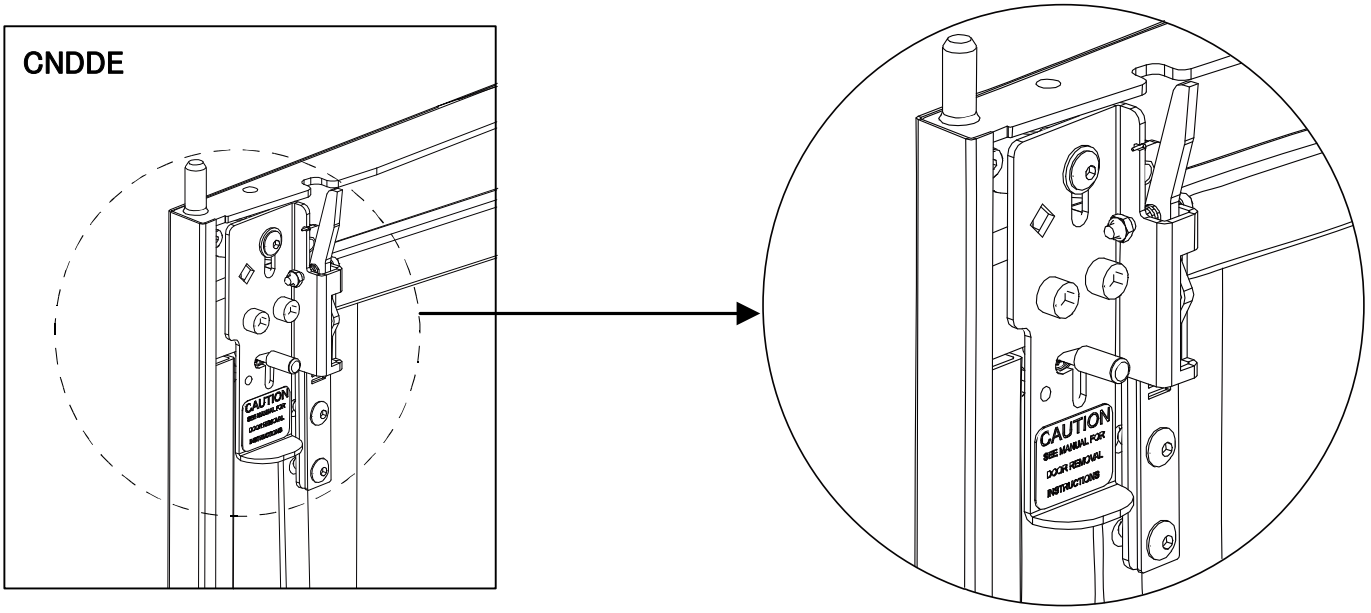
製品番号: CN1、CN2、CN1CN、CN2CN

Panduit Corporation Japan Branch

キャビネット用ドアの仕様

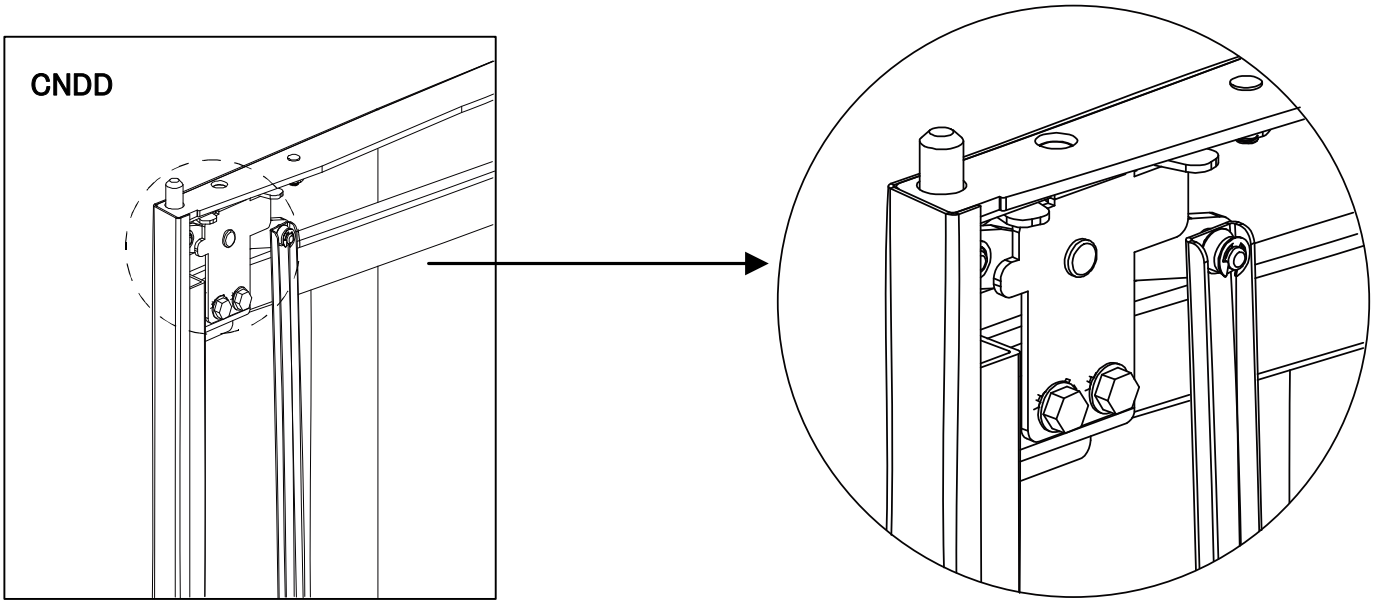
デュアルヒンジドアを取り付ける前に、ドアのタイプを確かめてください。下図のタイプ（CNDDE）であれば、次頁へ進んでください。

CNDDE



上の図のようにドアの角にピンが付いていない場合は、デュアルヒンジドア（型番：CNDD）の取扱説明書をご参照ください。

CNDD



版	制定	作成	承認
B	2008年9月16日	久保	今野

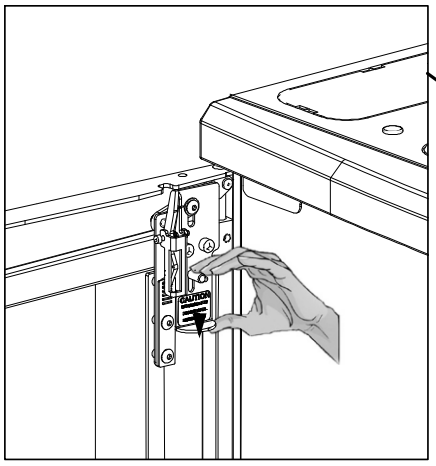
NET-ACCESS™ キャビネット

製品番号: CN1、CN2、CN1CN、CN2CN

Panduit Corporation Japan Branch

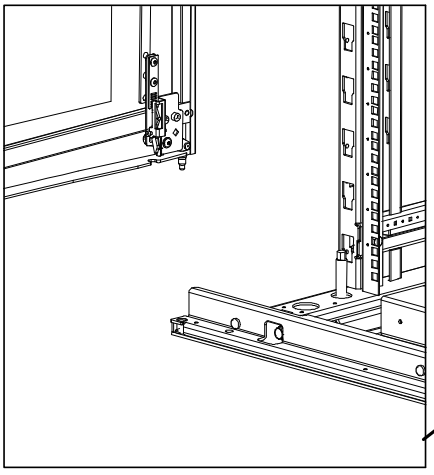
デュアルヒンジドアの取り付けおよび取り外し(CNDDE)

ドアを持ち上げ、下部のヒンジピンをキャビネット下部のドアサポートのブッシングに挿入します。ドアの上部を、キャビネット上部のブッシングに合わせます。赤いハンドルを下げ、ヒンジピンを下げます。上部のブッシングに合わせてハンドルを離し、ヒンジピンを挿入します。
ドアを取り外すには、ドアを開けた状態で押さえ、赤いハンドルを下げてヒンジピンを抜きます。

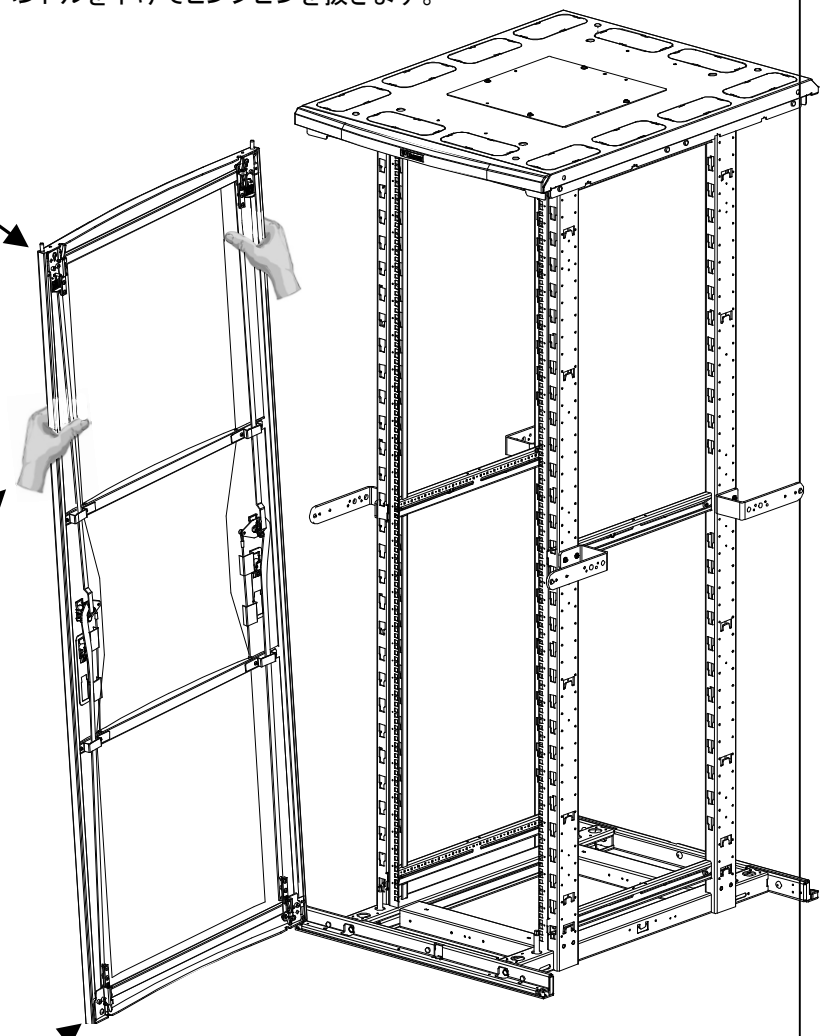


上部ヒンジピンの位置

ドアを外す際は、図のように片手でサポートし、もう片方の手でハンドルを下げます。



下部ヒンジピンの位置



版	制定	作成	承認
B	2008年9月16日	久保	今野

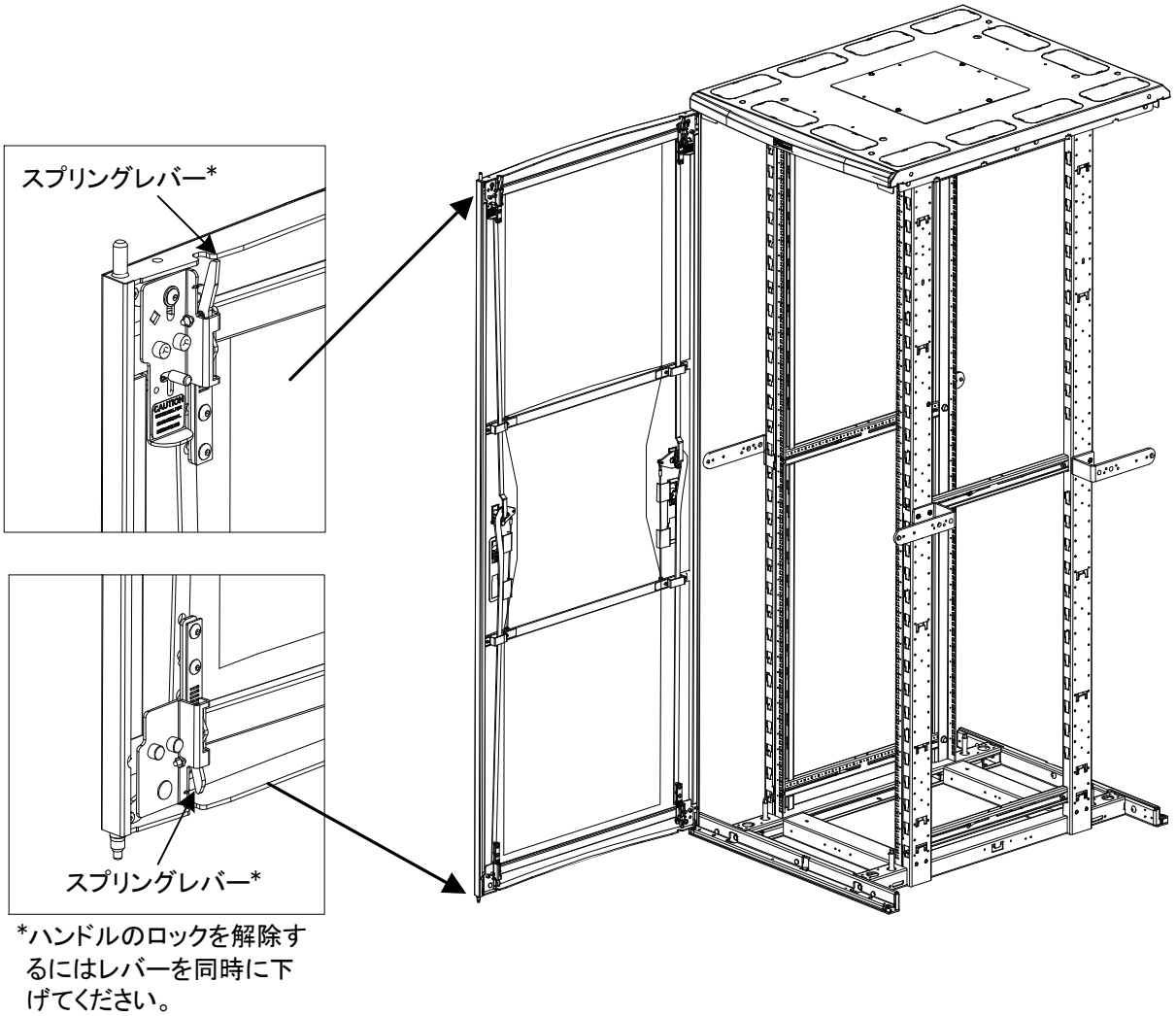
NET-ACCESS™ キャビネット

製品番号: CN1、CN2、CN1CN、CN2CN

Panduit Corporation Japan Branch

デュアルヒンジドアの使用方法(CNDDE)

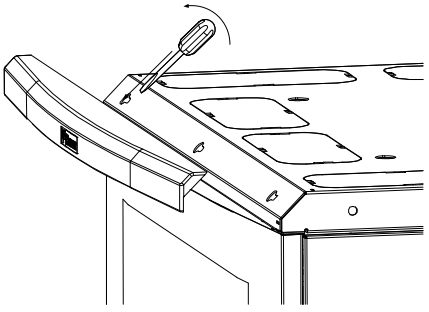
このドアは、左右どちらからも開閉可能です。ただし、一方のドアが開いている場合は、もう一方のハンドルはロックされ、回りません。(無理やりハンドルを回すと損傷の原因となります。)ドアを開いた状態で、ロックされ開いているハンドルを閉じるには、ドア上部と下部にあるスプリングレバーを下げ、同時にハンドルを回してください。



*ハンドルのロックを解除するにはレバーを同時に下げてください。

化粧プレートの取り付け

図のように、3箇所のノックアウトをドライバーなどで取り外し、添付のネジで化粧プレートを固定します。



重要:
きつく締めすぎないでください。最大トルク20in.-lbs(2.26N-m)

版	制定	作成	承認
B	2008年9月16日	久保	今野

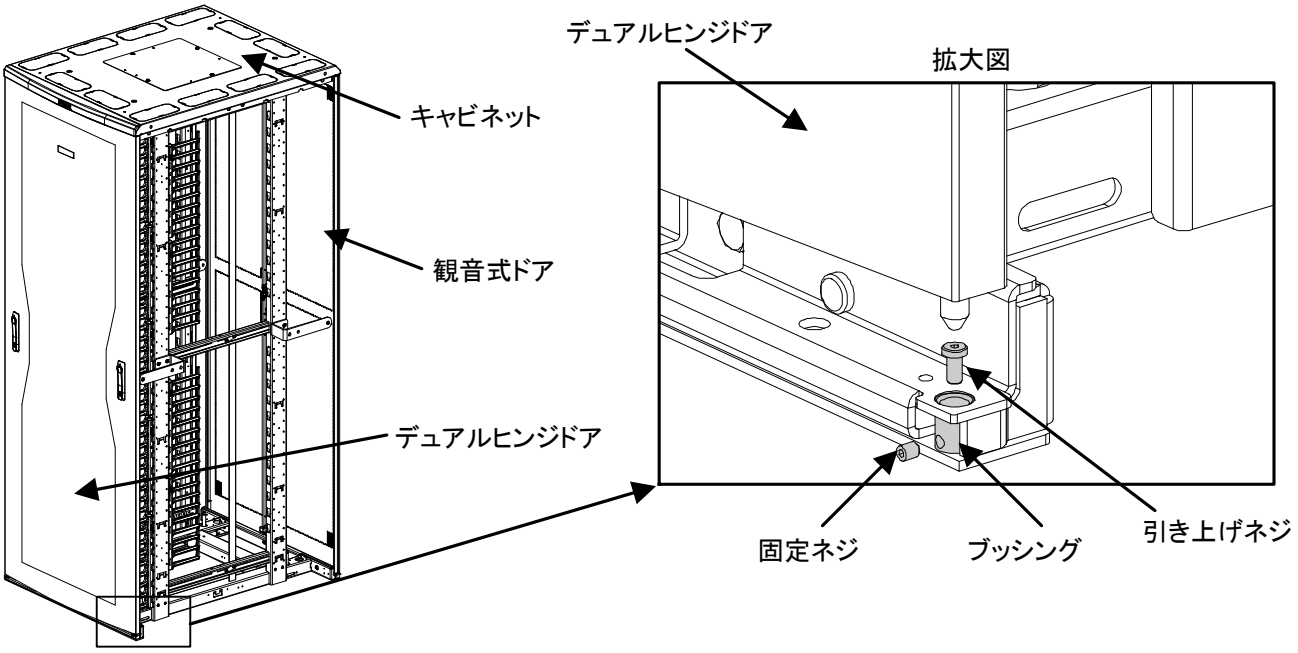
NET-ACCESS™ キャビネット

製品番号: CN1、CN2、CN1CN、CN2CN

Panduit Corporation Japan Branch

ドアの調節

キャビネットには、ドアの底部に引き上げブッシングが取り付けられています。これにより、キャビネットのドアを上下に調整できます。

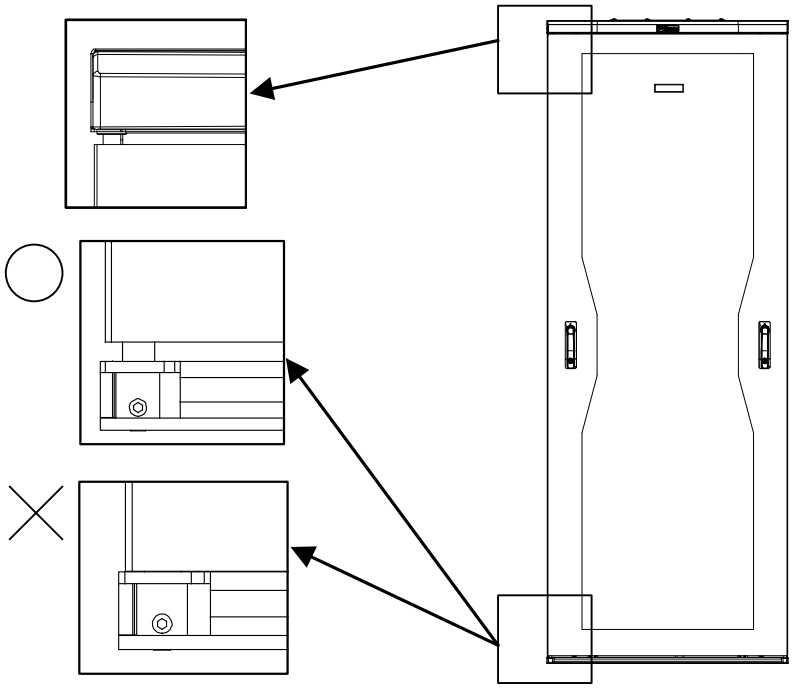


ドアの引き上げブッシングを使用することで、キャビネットドアを調節できます。固定ネジを緩め、引き上げネジを上げることでドアを持ち上げることができます。キャビネットドアフレーム内でドアの位置を調節します。

引き上げブッシングが上部の隙間を維持することでドアを調節できます。

引き上げネジを調整し、ドアを適切な位置に調節します。位置が確定したら固定ネジを締めます。

キャビネットが水平でないと、ドアと輪止めに十分な隙間を確保できません。これによりドア底部とフレームが摩擦・干渉してしまいます。



版	制定	作成	承認
B	2008年9月16日	久保	今野

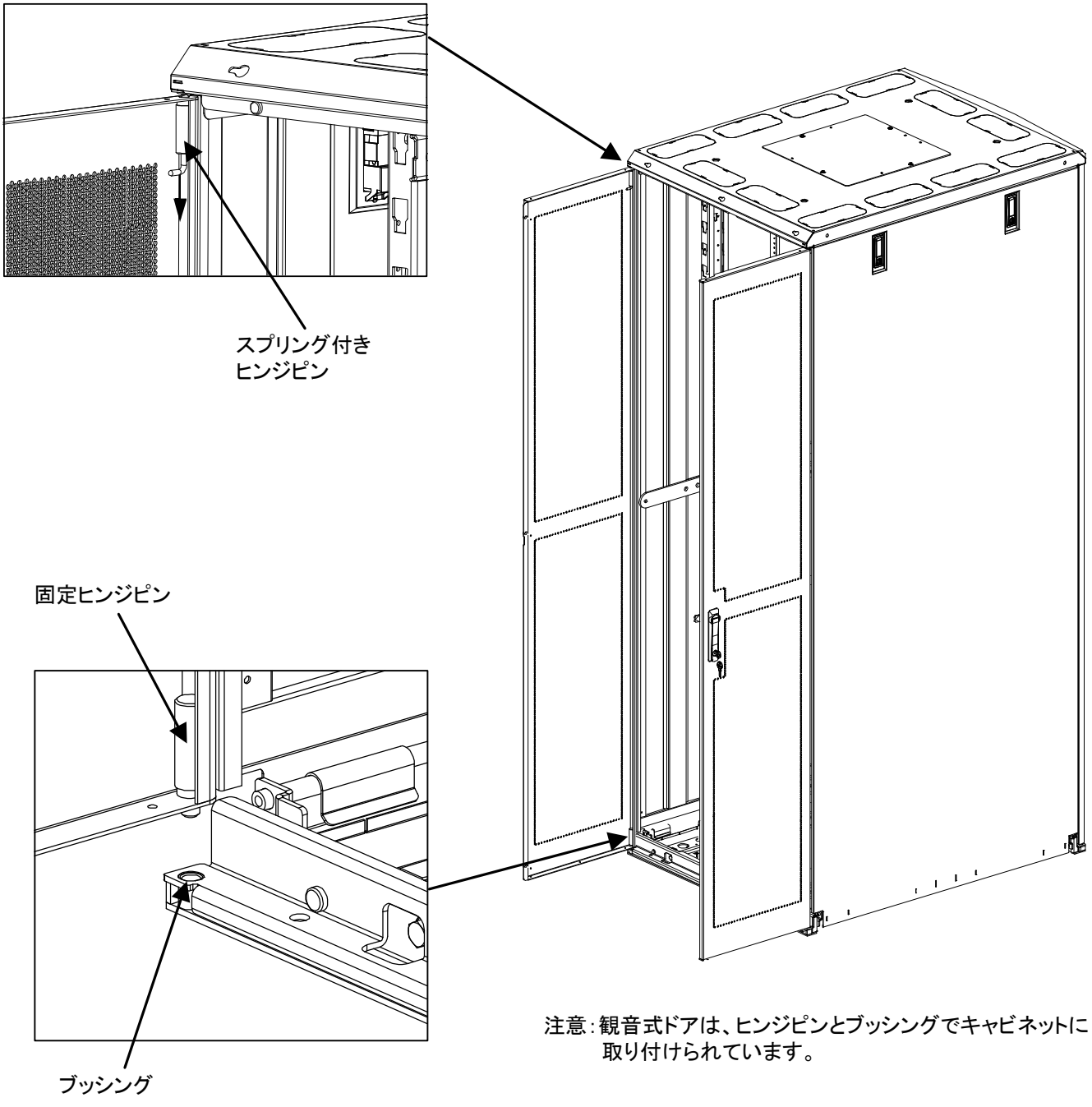
NET-ACCESS™ キャビネット

製品番号: CN1、CN2、CN1CN、CN2CN

Panduit Corporation Japan Branch

観音式ドアの取り付け(CNDS)

観音式ドアを持ち上げ、キャビネットの底部にあるブッシングと、ドアの下の固定ヒンジピンを一列に揃えます。ドア上部のレバーを下げ、スプリング付きヒンジピンとキャビネット上部のブッシングを一列に揃え、レバーを離します。ドアを取り外すには手順を逆に行います。



注意:観音式ドアは、ヒンジピンとブッシングでキャビネットに取り付けられています。

版	制定	作成	承認
B	2008年9月16日	久保	今野

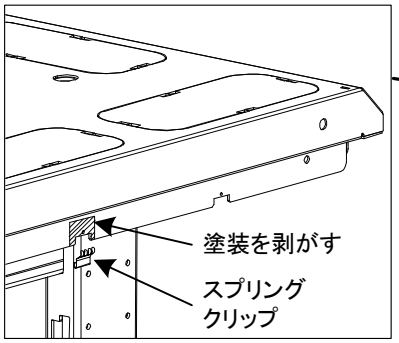
NET-ACCESS™ キャビネット

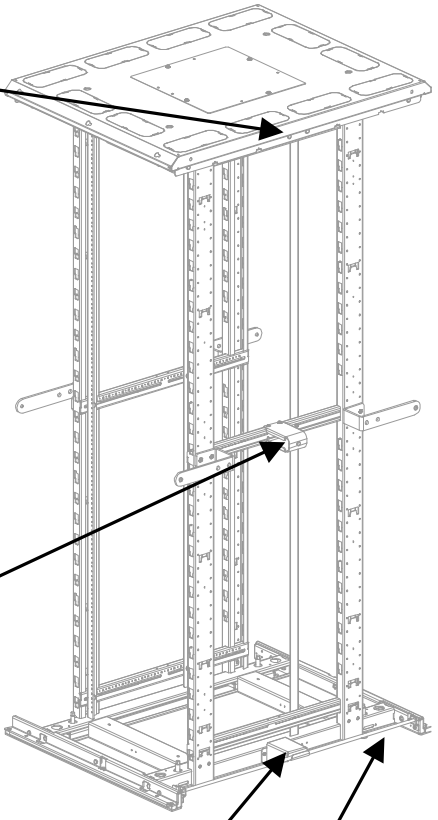
製品番号: CN1、CN2、CN1CN、CN2CN

Panduit Corporation Japan Branch

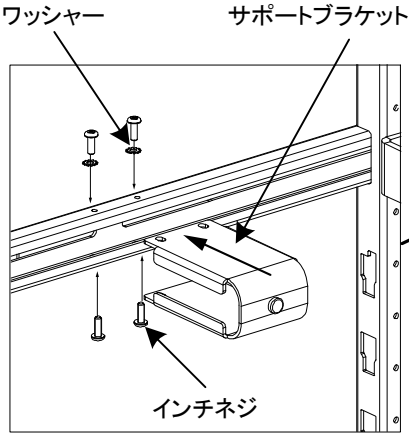
サイドパネルの取り付け(CNPS)

図のように、4箇所の塗装を剥がし、スプリングクリップを取り付けます。定位置にはまるまでスライドします。スプリングクリップを使用することでサイドパネルとキャビネットを接地できます。次項を参照し、サイドパネルを取り付けます。

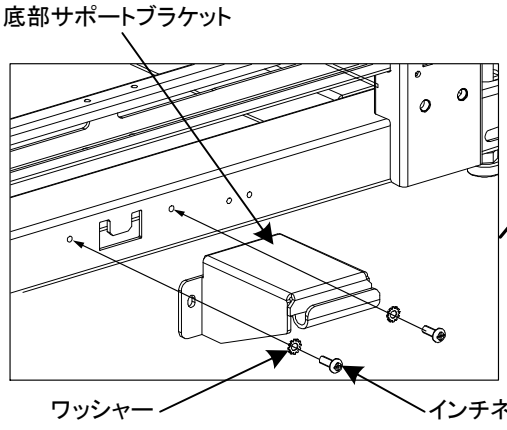




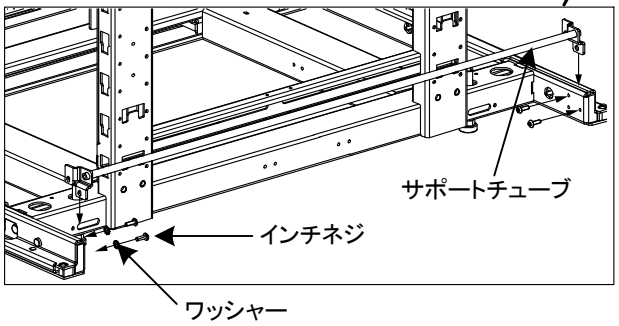
インチネジ4つとワッシャー2つを用いて、サポートブラケットを取り付けます。ワッシャーを使用することで、ブラケットとキャビネットを接地できます。



インチネジとワッシャーそれぞれ2つを用いてサポートブラケットを取り付けます。サポートチューブを適切に支えられるよう、必要であれば調整してください。ワッシャーを使用することで、ブラケットとキャビネットを接地できます。



インチネジ4つとワッシャー2つを用いてサポートチューブを取り付けます。サイドパネルを適切に設置できるよう調節してください。ワッシャーを使用することで、ブラケットとキャビネットを接地できます。



版	制定	作成	承認
B	2008年9月16日	久保	今野

NET-ACCESS™ キャビネット

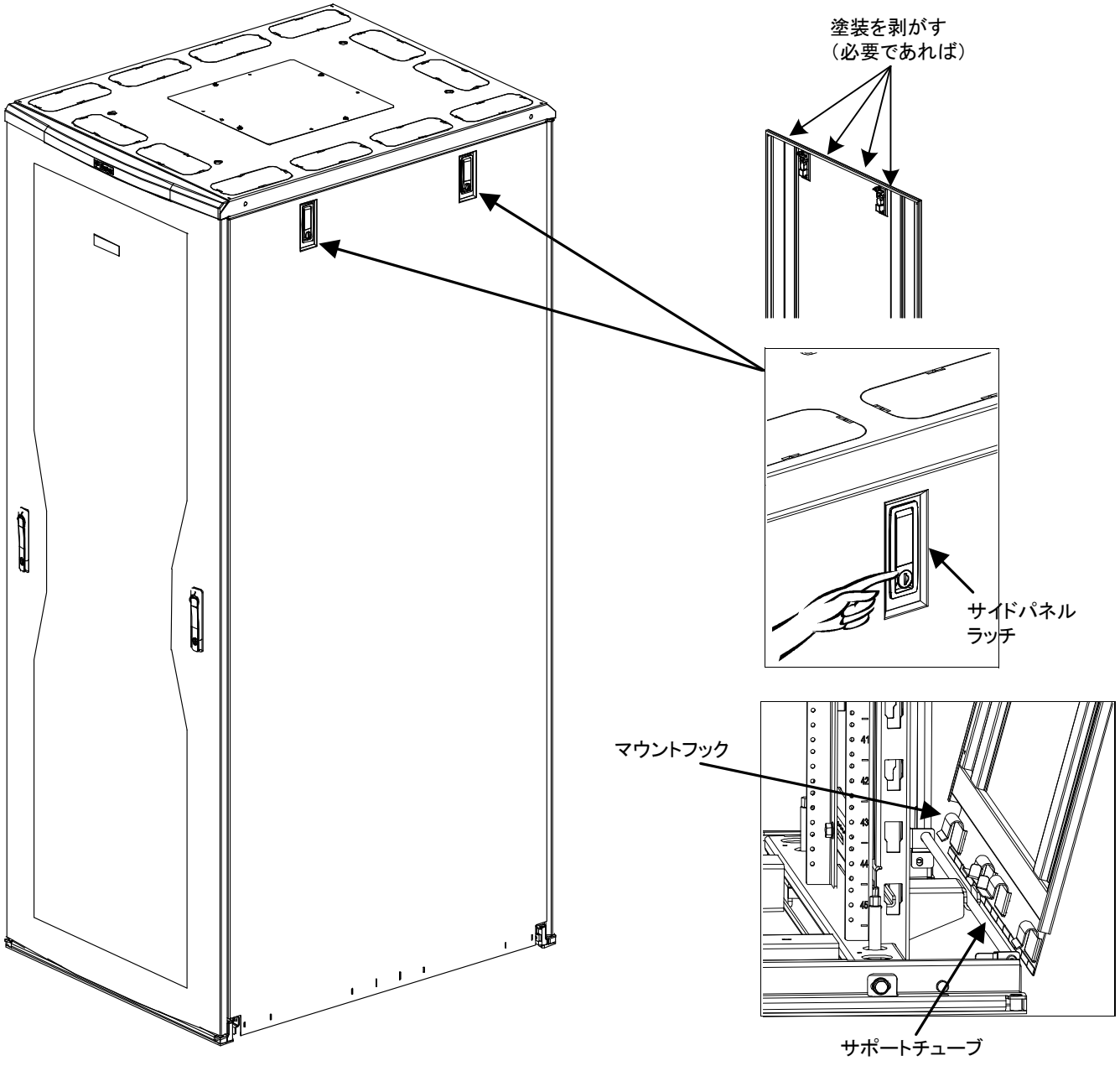
製品番号: CN1、CN2、CN1CN、CN2CN

Panduit Corporation Japan Branch

サイドパネルの取り付け(CNPS)

マウントフックがサポートチューブに架かるまでサイドパネルを持ち上げます。ラッチを開いた状態でサイドパネルを設置し、ラッチを閉めます。必要であればラッチのグリップ幅を調整してください。サイドパネルを取り外すには、手順を逆に行ってください。サイドパネルを付けた状態でキャビネットを連結する場合は、連結する前にパネルを取り付けてください。連結したキャビネットの間でエアダクト(CNAEシリーズ)を使用する場合も、連結する前にダクトを取り付けてください。

注意:サイドパネルとキャビネットは、スプリングクリップとサイドパネルの塗装部で接地されています。サイドパネルを他のキャビネットに移動して使用する場合は、キャビネットの塗装を剥がしてからサイドパネルを取り付けてください。



版	制定	作成	承認
B	2008年9月16日	久保	今野

取扱説明書

CM317B-JP

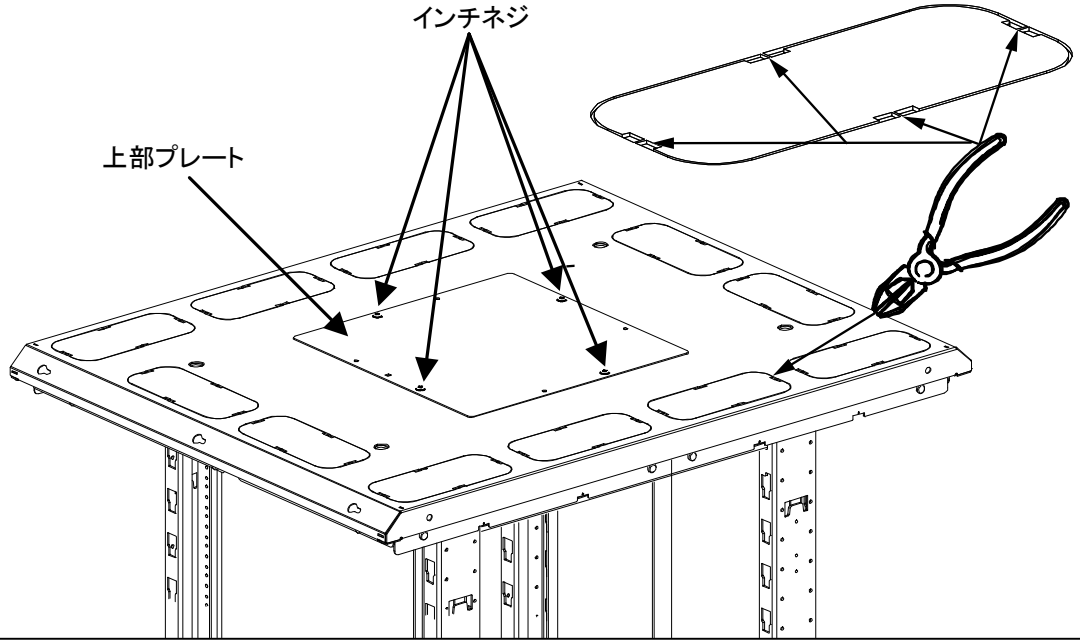
NET-ACCESS™ キャビネット

製品番号: CN1、CN2、CN1CN、CN2CN

Panduit Corporation Japan Branch

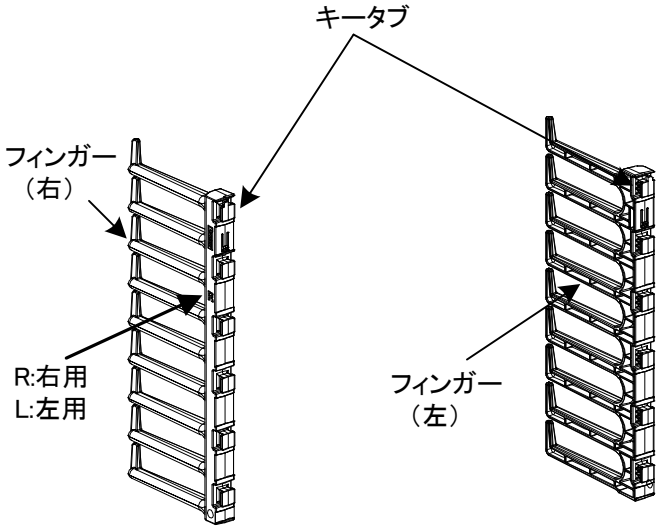
ケーブル用開口

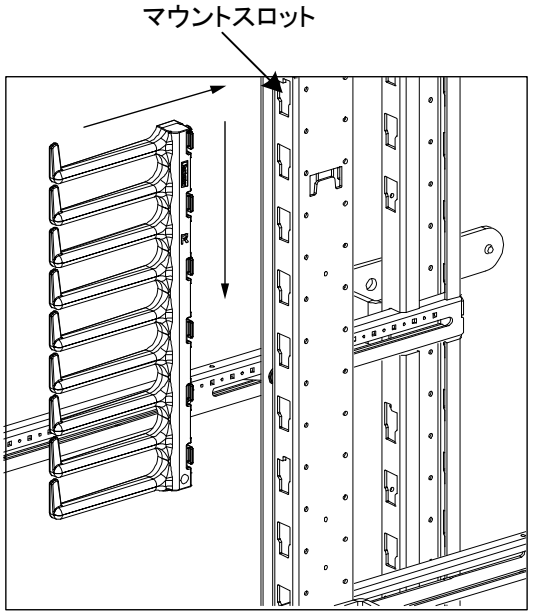
キャビネットには、ケーブルを通すためのノックアウトが複数あります。天板の中心にあるプレートはインチネジを外せば取り外せます。ノックアウトは、図にあるようにワイヤーカッターで取り外し可能です。ブッシングが添付されていますので、取り外したノックアウト部分に使用できます。



ケーブルマネージャ取り付け

キャビネットにはケーブル管理フィンガー(左右10列づつ)が添付されています。取り付けるには、フィンガースロットにキータブを挿入し、下へスライドします。取り外すには手順を逆に行います。





注意:1番上のフィンガータブとフィンガースロットは、ラックユニットの位置と一致するようになっています。

版	制定	作成	承認
B	2008年9月16日	久保	今野